

特定プログラム説明書

開設学部等名〔 教育本部 〕

プログラムの名称	(和文) Global Peace Leadership Program
	(英文) Global Peace Leadership Program
<p>1. 概要</p> <p>現在、社会・文化・経済のグローバル化が急速に進展しており、今後更なる国際的な流動性が高まることが予想される。同時に、社会からは、そのような激しい変化に柔軟に対応でき、さらに文化が異なる他者との間で、自分の意見を述べ、かつ適切な意思疎通ができるグローバル人材の育成が強く求められている。このような背景のもと、本プログラムでは、「平和を希求する国際教養力を備えたグローバル人材」を育成するため、英語力、多文化社会での課題発見・解決能力、リーダーシップ力、キャリア形成力を徹底的に鍛えるとともに、日本文化や平和への理解を深めることにより世界の中で日本人としてのアイデンティティを確立することができるカリキュラムを提供する。また、本プログラムの修了要件として、海外留学を義務づけることで、これらの育成すべき能力を強化する。</p>	
<p>2. 到達目標</p> <p>本プログラムは、「平和を希求する国際教養力を備えたグローバル人材」の育成を目的としており、具体的には、次の6分野での各能力の習得を目標とする。</p> <p>(1) 留学支援英語</p> <p>グローバル化時代に対応するため、コミュニケーションツールである英語により、他者とディスカッションできる能力を養成するとともに、TOEIC®テストで800点レベルのスコアを取得できることを目標とする。</p> <p>(2) 平和科目</p> <p>英語で開講される平和科目により、戦争・紛争、核廃絶、貧困、飢餓、人口増加、環境、教育、文化等の様々な観点から平和について考え、理解を深めることを目標とする。</p> <p>(3) フィールド型演習</p> <p>被爆地ヒロシマの地域性を理解し、さらにチームワークやリーダーシップ、プレゼンテーション能力といったグローバル化社会で必要なるマインド・スキルを、フィールドワークを通じて習得する。</p> <p>(4) 国際交流科目</p> <p>異なる文化や価値観をもつ他者との交流及び相互啓発により、新しい価値を生み出そうとする態度、異文化への寛容性、ディベート能力を育成する。</p> <p>(5) 日本文化</p> <p>日本文化を美術、芸術、工芸、建築、文学、歴史、宗教、思想等様々な視点から捉え、その基本的知識を身につけ、理解を深めることを目標とする。</p> <p>(6) グローバル・キャリア・デザイン</p> <p>インターンシップやボランティア活動など、企業或いは地域社会との交流や連携を通じて、グローバル人材に求められる課題発見解決力やチームワーク力を養成するとともに、自らのキャリア形成に対する意欲向上を目標とする。</p>	
<p>3. 登録時期</p> <p>本プログラムの登録は、1年次第1タームで希望調査を行い、第2タームで登録者を確定する。</p>	

4. 登録要件

TOEIC®スコアで概ね600点、もしくは、これに相当する英語コミュニケーション能力を備えていることを登録要件とする。

5. 受入上限数

20名程度とする。希望者が多数の場合、TOEIC®スコアや志望理由などを基に、プログラム担当教員会で登録者を決定する。

6. 授業科目および授業内容

授業科目は、別紙の履修表を参照すること。授業内容は、各年度に公開されるシラバスを参照すること。
なお、授業及び期末試験を円滑にするため、受講者定員を超過した授業科目については、受講者抽選を行うことがある。

7. 修了要件

別紙の履修表に示す14単位を修得し、かつ各主専攻プログラムが推奨する海外留学に参加すること。
なお、「留学支援英語」に関して、他の授業科目との時間割の重複等により履修が困難である場合、TOEIC®公開テスト又は広島大学が全学一斉実施するTOEIC®IPテストで730点以上又は実用英語技能検定試験(英検)準1級以上を取得していれば、次のとおり単位を認定する。なお、その際は「特定プログラム」登録後のスコアや取得級(具体的には1年次6月以降に取得したもの)を用いることとし、評価は付さないこと(認定)とする。上記検定試験等による単位認定の申請期限は、卒業予定年度の10月末までとし、希望者は合格証等のコピーを添えて申し出ること。(この期限以後の単位認定申請は受理しない。)

認定授業科目	認定単位数
英語語彙運用スキルアップ (Vocabulary Building)	左記授業科目のうち、いずれか1科目分として2単位
英語口頭表現スキルアップ A (Listening)	
英語口頭表現スキルアップ B (Speaking)	
英語文章表現スキルアップ A (Reading)	
英語文章表現スキルアップ B (Writing)	
英語口頭発表スキルアップ (Oral Presentation)	

8. 留学要件

海外留学の参加条件は、以下のとおりとする。

- 留学支援英語：3単位または広島大学入学後にTOEIC®スコア730点相当を取得していること。
- 平和科目：2単位
- フィールド型演習・国際交流科目：2単位
- 日本文化群：2単位
- 留学プログラムによっては上記の他に留学要件が課される場合がある。

※留学支援英語の「コミュニケーション上級英語」を履修することを要望します。

※留学への参加にあたっては、留学支援英語を8単位程度修得することが望ましいです。

9. 責任体制

副学長(全学共通教育担当)を本プログラムの責任者とした、Global Peace Leadership Program担当教員会が計画・実施・評価にあたる。

10. 既修得単位等の認定単位数等

(1) 他大学等における既修得単位等の認定単位数等

原則として既修得単位等の認定は行わない。

(2) 広島大学における既修得単位（科目等履修生として修得した単位を含む）の認定単位数等

原則として既修得単位等の認定は行わない。

【特定プログラム履修に関する注意事項】

○主専攻プログラムの授業時間割の関係で、登録した特定プログラムの授業科目履修が制限されることがある。

○特定プログラムで開設されている授業科目も、本学共通の平均評価点(GPA)の計算対象に含まれる。

分野	要修得 単位数	授業科目	単 位 数	履修年次 (開講期)	開設部局
留学支援英語 (※4)	4	コミュニケーション上級英語(※1, 2)	1	1年次 (1T,2T,3T)	教養教育科目 (外国語教育研究センター)
		英米文化事情概論 I(※2)	1	1年次 (1T)	教養教育科目 (外国語教育研究センター)
		英米文化事情概論 II	1	1年次 (3T)	教養教育科目 (外国語教育研究センター)
		英米文化事情概論 III	1	1年次 (2T)	教養教育科目 (外国語教育研究センター)
		英米文化事情概論 IV	1	1年次 (4T)	教養教育科目 (外国語教育研究センター)
		英語語彙運用スキルアップ (Vocabulary Building)	2	2年次 (3セ)	外国語教育研究センター
		英語口頭表現スキルアップ A (Listening)	2	2年次 (3セ)	外国語教育研究センター
		英語口頭表現スキルアップ B (Speaking)	2	2年次 (4セ)	外国語教育研究センター
		英語文章表現スキルアップ A (Reading)	2	2年次 (4セ)	外国語教育研究センター
		英語文章表現スキルアップ B (Writing)	2	3年次 (5セ)	外国語教育研究センター
		英語口頭発表スキルアップ (Oral Presentation)	2	3年次 (6セ)	外国語教育研究センター
		Special English Training for Studying Abroad (英語特別演習)	2	1年次 (前期集中)	総合科学部国際共創学科
平和科目 (ENG.Ver)	2	Global Issues Towards Peace A	2	1年次 (2T)	教養教育科目 (外国語教育研究センター)
		Global Issues Towards Peace B	2	1年次 (2T)	教養教育科目 (外国語教育研究センター)
国際交流科目	2	人文地理学 B	2	1年次 (3T)	教養教育科目
		INU 特別集中講義(※6)	2	1年次 (2T)	教養教育科目
		INU 特別協力講義	2	1年次 (2T)	教養教育科目
		Glocal Leadership Development: Practicum(※2)	2	1年次 (1セ)	森戸国際高等教育学院
		Study on Japanese Companies and Social Entrepreneurship	2	1年次 (2T, 3T)	森戸国際高等教育学院
日本文化群	4	歴史学の世界	2	1年次 (4T)	教養教育科目
		地理・考古・文化財の世界	2	1年次 (2T)	教養教育科目
		比較宗教学	2	1年次 (3T)	教養教育科目
		日本宗教論 A	2	1年次 (4T)	教養教育科目
		日本宗教論 B(※6)	2	1年次	教養教育科目
		宗教学 B(※2)	2	1年次 (1T)	教養教育科目
		芸術文化論	2	2年次 (1T)	総合科学部
		日本史学入門	2	1年次 (3T)	文学部
		日本文学語学入門	2	1年次 (4T)	文学部
		文化財学入門	2	1年次 (4T)	文学部
		考古学入門	2	1年次 (3T)	文学部
		日本語の語彙と意味	2	2年次 (前期集中)	教育学部
		社会言語学	2	2年次 (3T)	教育学部
		日本文学と文化	2	2年次 (3T)	教育学部
		日本美術史概説	2	2年次 (2T)	教育学部
		Cross Cultural Studies on Education(※5)	2	1年次	教育学部
The Japanese Culture and Peace(※5)	2	1年次	森戸国際高等教育学院		
The Independent Study on Japanese Culture and Peace (※5)	1	1年次	森戸国際高等教育学院		
グローバル・ キャリア・デ ザイン	2	実践フロンティアプログラム	2(1)	1年次 (2T,3T)	教養教育科目
		地域社会探検プロジェクト・インターンシップ・ボランティアを体験してみよう	2	1年次 (集中)	教養教育科目
海外留学		海外留学プログラム (※3)		各学部による	
要修得単位数 合計	14				

※1 「コミュニケーション上級英語」の履修を要望する。

※2 プログラム登録時期 (1年次 2T) より以前に開講される科目を示す。

※3 本プログラムの修了要件として、各主専攻プログラムが推奨する留学プログラムを義務づける。なお、「海外留学プログラム」による海外での修学が、本学の授業科目の単位として認定可能かどうかは、所属の学生支援室で留学前に確認すること。

※4 留学にあたっては、留学支援英語から8単位程度修得することが望ましい。

※5 外国人留学生を対象とした「日本事情に関する科目」であるため、自学部の卒業要件単位に含まれるかどうかは自学部の学生支援室にて確認すること。

※6 2020年度は不開講の科目を示す。